

時間割コード	G3E14101	開講年度	2026			
授業題目	生物学A				担当教員	久保 浩義
英文授業名	Biology A					
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・5時限	対象学生
講義室	共通教育 7 1 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	E I 【理】， M I （保） 【看】 【検】
備考						
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	大学D P					
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	生物学に関連した社会的な事柄に対して、自分の言葉で考えを述べ、論議できるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	毎回予定されている授業内容の予習を行い、その成果を発表する。講義終了後に確認テストを行い、講義内容の理解度を確認する。					
(5)授業のキーワード	生物の定義、糖質、脂質、タンパク質、核酸、細胞の構造、オルガネラ、細胞分裂、ATP、解糖系、クエン酸回路、電子伝達系、光合成					
(6)授業計画	1.ガイダンス、グループ分け、生物の定義 2.生体の構成成分 糖の構造と機能 3.脂質について 4.アミノ酸・タンパク質の構造 5.タンパク質の機能 6.DNAの構造 7.DNAの働き、転写、翻訳 8.前半の確認テスト、細胞構造 9多細胞生物と細胞分化 10.DNAの複製、細胞分裂 11.酵素について 12.ATP 13.酸化、解糖系、発酵 14.TCA、電子伝達、ATP合成 15.光合成の反応、後半の確認テスト、授業アンケート					
(7)成績評価の方法	前半、後半の確認テスト、毎回の小テスト、予習内容に関する発表状況					
(8)成績評価の基準	生物学の基本的事項を理解し、他の人に説明できれば達成目標の水準にある。さらに高度な内容を理解していれば、その内容によりやや上にある、かなり上にある、卓越しているとする。					
(9)事前事後学習の内容	毎回、基本的な事項に関して予習し、グループごとにその内容をまとめて発表する。講義終了時に内容理解のための小テストを実施する。					
(10)履修上の注意	講義に先立ち、高校レベルで良いのでその分野の内容を復習しておく。さらにグループで相談し、その内容を初心者にもわかるようにグループごとに発表する。内容の理解に加え、内容のまとめかた、プレゼンの仕方にも工夫をすること。毎回の小テストを必ず提出する。					
(11)質問,相談への対応	メールで随時受け付ける hkubo77@shinshu-u.ac.jp					
(12)授業への出席	毎回の出席を基本とする。やむを得ない欠席の場合は事前にメールなどで連絡すること。					
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	当該授業時間に行った内容に関して、資料をもとにレポートとしてまとめ提出してもらう。内容に関する質問は随時受け付ける。					
【教科書】	教科書は指定しない					
【参考書】	ブルーバックス 大学生物学の大学生物学の教科書 1ー3巻					